

施政方針の主な内容と事業

重点施策①

誰一人取り残さないまち



高齢者・障がい者などへの支援

主に75歳以上の高齢者（ゴールドシニア）を対象に、「学ぶ、使う、得をする」をテーマにしたチャレンジ75を実施します。...

- デジ活講座事業 [新規] (216万円)
○ ゴールドシニア事業 (はじめてスマホ) [新規] (7,553万円)
○ デジタル地域通貨推進事業 (17億9,617万円)のうちデジ活講座参加ポイント分 [拡大] (108万円)
○ ゴールドシニア事業 (チケット75) [継続] (6,405万円)
○ いちカレ事業 [継続] (300万円)
○ 障害福祉サービス等利用者負担軽減事業 [拡大] (2,090万円)



◀チャレンジ75で「学ぶ、使う、得をする」(写真はイメージ)

子育て環境の充実

子どもに関する相談窓口を集約したこども家庭センターを第1庁舎2階に設置します。また、子育てのため親世帯と同居・近居を開始する場合の住宅購入を応援します。

- こども家庭センター(親子スペース)整備事業 [新規] (360万円)
○ 子育て世帯同居・近居スタート応援補助金 [新規] (2,000万円)

保健衛生の向上

市内コンビニエンスストアにAEDを配置します。また、50歳以上を対象に帯状疱疹予防接種の費用を助成します。...

- AED整備事業 [新規] (627万円)
○ 予防接種事業 [拡大] (3,482万円)
○ 若年がん患者在宅療養支援事業 [新規] (135万円)

動物愛護の推進

犬や猫の譲渡会、犬のしつけ教室、飼い主のいない猫への不妊手術やワクチン接種の支援を継続します。

- 猫不妊手術費等助成事業 [継続] (905万円)

重点施策②

持続可能で安心・快適なまち



脱炭素社会の実現・クリーンセンター整備

再生可能エネルギーを生み出すクリーンセンターを建て替えるとともに、地域新電力会社を設立します。住宅の断熱化、太陽光発電の促進、電気自動車の普及、一宮町との連携による森林環境整備事業など、カーボンニュートラルに向けた取り組みを加速させます。

- クリーンセンター整備事業 [継続] (14億4,271万円)
○ 地域新電力会社設立事業 [新規] (8万円)
○ 住宅断熱改修促進事業 [拡大] (2,505万円)
○ スマートハウス普及促進事業 [拡大] (5,522万円)
○ 電気自動車等導入促進事業 [拡大] (377万円)
○ 森林環境整備事業 [継続] (1億1,705万円)

良好な自然環境の整備・保全

生き物の住処、漁場など、多様な機能を有する三番瀬では、梨の剪定枝を活用したボサ漁、アマモの植え付けによる藻場再生を進めます。真間川水系などでは良好な水辺環境を目指します。...

- 水産業振興負担金(アマモ移植等関係経費) [新規] (131万円)



▲ボサ漁の仕掛け作りの様子

防犯の強化

電話de詐欺を防止する電話機への買い替え(上限7千円)や、カメラ付き防犯灯の設置の補助(上限9万円)を継続します。また、子育て世帯が住むための空家リフォーム費用の補助を開始します(上限:市内転居25万円、転入50万円)。

- 電話de詐欺対策事業 [継続] (332万円)
○ 防犯灯設置事業 [継続] (1億8,787万円)
○ 空家対策事業 [拡大] (746万円)

まちづくりの推進

都市計画マスタープランは社会情勢などの変化に合わせて改定し、本八幡駅北口駅前地区の再開発については、地域の方々とともに市街地にふさわしい都市拠点を目指します。また、北千葉道路、新湾岸道路、都市計画道路などの早期整備を引き続き国や県に要望します。...

- 都市計画マスタープラン推進事業 [継続] (1,600万円)
○ 本八幡駅北口駅前地区市街地再開発事業 [新規] (4億160万円)
○ 公共下水道整備汚水事業 [継続] (72億7,449万円)
○ 下水道施設長寿命化対策事業 [継続] (4億6,880万円)

重点施策③

魅力あふれる元気なまち



文化・芸術の振興

行徳の神輿文化を継承し、市の無形民俗文化財に指定することを検討します。また、文化振興ビジョンの見直しの中で美術館構想を具体的に示すなど、美術館開設に向けた調査・研究をします。

- 美術館建設準備事業 [継続] (11万円)



▲行徳まつりでの神輿渡御

スポーツの振興

スポーツに取り組むことで豊かな心や明るく前向きな人を育てます。また、応援する人々のエネルギーがまちを活性化させます。国府台公園野球場は着実に整備するほか、海に面する立地を生かした(仮称)塩浜マリナーパークの検討を進めます。

- 国府台公園再整備事業 [継続] (16億2,709万円)

市民活動の活性化

行政ポイントのメニューを拡充し、自治会活動など市民活動の活性化に努めます。

- デジタル地域通貨推進事業(17億9,617万円)のうち行政ポイント分 [拡大] (5,000万円)

都市農業・水産業の活性化

梨をはじめとする都市農業の安定的な経営支援を継続します。また、市川漁港の整備や三番瀬まつりの開催など水産業を振興します。

- 都市農業振興支援事業 [継続] (2,492万円)
○ 水産業振興補助金 [継続] (1,001万円)



90周年記念事業

記念式典では、功績顕著な方に「市川市名誉市民」の称号を贈ります。また、90周年を記念し、永井荷風氏の名を冠した「文学賞の創設」、戦後の混乱で卒業式を経験できなかった方に向けた「卒寿の卒業式」の開催、「さくらオーナー」の募集を90本に拡大、「デジタル地域通貨ICHICO」の特別キャンペーンなど、市民、市議会、行政が一体となって盛り上がるさまざまなイベントなどを実施します。

- 市制施行90周年記念式典 (966万円)
○ 名誉市民関係経費 (498万円)
○ 卒寿の卒業式 (169万円)
○ さくらオーナー事業 (2,314万円)



教育行政運営方針の主な内容と事業

基本方針①

子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進



すべての子どもたちの確かな学力の育成

主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善や子どもそれぞれに応じた授業展開を図り、自ら調べ考え、他の人と協働しながら学ぶ探究的な学習に注力します。また、言語能力を高めるため、学校図書館を活用した読書教育を進めます。

- 学校図書館支援事業 [継続] (425万円)

基本的な生活習慣の定着及び運動やスポーツに親しむ機会の充実

家庭・園・学校が一体となり、自ら健康的な心身を作るための生活習慣を身に付けられるよう、包括的な健康教育に取り組みます。

食の環境の充実及び食育の推進

学校給食費の無償化を継続し、学校給食を食生活の教材として活用した食育を引き続き推進します。

- 学校給食室運営事業・学校給食費管理事業 [継続] (41億4,455万円)



▲満足での活動風景

基本方針②

学びの質の向上と学びの保障の実現



子どもたちの情報活用能力の向上

「情報活用能力」の向上のため、ICTを効果的に活用し、個別最適な学び・協働的な学びを充実させます。

- 学校情報化研究事業 [継続] (13億3,286万円)



▲学習用端末(タブレット)を活用した授業風景

不登校児童生徒への対応

学校と家庭、関係部署などとの連携を強化し、情報共有体制を構築します。また、小学校の協力校に校内教育支援センターを開設します。

多様な教育ニーズへの対応

きめ細かな指導を行い、子どもの状況に合った適切な教育機会の提供を図ります。また、放課後子ども教室の充実や放課後保育クラブの待機児童解消に向け、整備を進めます。

- 子どもの居場所づくり事業 [継続] (3億6,356万円)
○ 放課後保育クラブ運営事業 [継続] (17億4,135万円)

誰もが居心地の良い学校づくり

子どもたちが学校で安心して過ごせるよう、業務の適正化を図り、教職員の働き方改革を推進します。また、宮田小学校の校舎建て替えや大洲小学校の校舎増築など、安全で安心な学校の環境づくりを進めます。

- 小学校建替事業 [新規] (7,200万円)
○ 小学校校舎整備事業 [継続] (4,543万円)

基本方針③

ともに支え合う学びの環境整備



学校運営協議会や地域学校協働本部の充実と活用

子どもたちが社会とのつながりの中で学べるよう、家庭・学校・地域のさらなる連携を図り、学校運営協議会や地域学校協働本部の一層の充実と活用を進めます。



▲地域住民のボランティアによる登下校時の見守り運動

生涯学習の環境の整備

公民館、図書館、博物館の活用を通じて、地域の身近な学習拠点として多様な学びの場を提供します。

文化財の保護・活用と調査

子どもたちの歴史・文化への理解と地域の愛着の醸成を図るため、国府台遺跡の国庫・国衛の遺構の調査を継続して行います。また、史跡下総国分寺跡(北下瓦窯跡)や史跡曾谷貝塚において、史跡の公有化や適切で計画的な史跡の保存活用を図ります。

- 埋蔵文化財調査事業(下総国府調査) [継続] (1,762万円)
○ 史跡整備保存事業 [継続] (1,080万円)